

## FRP防水のトップコート塗り替え用 カナエ水性FRPトップ

カナエ水性FRPトップはFRP防水のトップコートを塗り替える際に使用する一液の水性カラートップコートです。

施工する際は、旧FRP防水層及び旧トップコート層の表面を高圧洗浄等で水洗いし、乾燥させた後、直接塗布する事が可能です。旧FRP防水層の表面を研磨及びアセトン拭きする必要はありません。

また、成分としてポリエステルとアクリルをハイブリッドさせた特殊樹脂を配合しており、通常のアクリル系樹脂と比較して、ポリエステル系の基材と密着性や耐久性、耐水強度が優れます。

### 【主用途】

- FRP防水のトップコートの塗り替え

### 【特長】

- 旧FRP防水層の表面を研磨及びアセトン拭きを行う必要がありません。
- 一液の水性トップコートである為、施工し易く、環境にも優しい製品です。

### 【性状】

項 目	骨入り	骨抜き
外 観	各色粘稠液	各色粘稠液
粘 度 (mPa・s) at23°C	7000~17000	3000~8000
不揮発分 (%)	61±2	54±2
密 度 (g/ml) at20°C	1.28±0.05	1.20±0.05
色	グレー、グリーン	グレー、グリーン



【密着性】 JIS K 5600-5-6 準拠 分類0～5（0が最も優れる）

	カナエ水性 FRPトップ(骨入り)	カナエ水性 FRPトップ(骨抜き)	汎用水性トップコート
2mm角	○[分類0]	○[分類0]	×[分類5]
1mm角	○[分類0]	○[分類0]	×[分類5]

汎用ポリエステル系トップコート（他社品・スチレンタイプ）施工後、23℃中で3日間養生後、表面研磨及び溶剤拭きを行わずに各水性トップコートをwet0.2mm塗布。23℃中で3日間養生した後、塗膜表面からカッターで所定の幅で切り込みをいれ、密着性確認試験を行った。

【汎用ポリエステル系トップコートとの比較】

	カナエ水性 FRPトップ	汎用ポリエステル系 トップコート	汎用水性 トップコート
作業の容易さ	○	△	○
FRP防水材に対する密着性	○	○	×
環境に対する配慮	○	×	○
耐候性	○	△	○

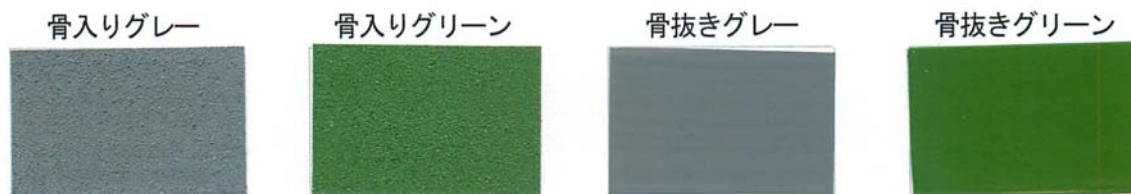
【標準塗布量】

骨入り 0.5kg/m<sup>2</sup>×2回塗り 骨抜き 0.2kg/m<sup>2</sup>×2回塗り

【荷姿】

骨入り 18kg入り石油缶 骨抜き 15kg入り石油缶

【カラーサンプル】



（本紙記載の数値は全て代表値であり、製品の性状並びに性能を保証するものではありません）

ここに記載しました技術資料及び標準処方例等は、当社において十分試験・研究したもので信頼しえるものであると考えますが、材料並びに使用条件等によりかなり相違する場合があります。従って需要各位でご試験・ご検討の上使用下さいませようお願いいたします。

実際の使用にあたってはMSDS（製品安全データシート）等を参照の上安全にお使いください。  
また本文記載の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。